

図画工作科学習指導略案

4年2組 31名 指導者 大久保 やよい

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子どもの五感を刺激する題材との出会い方を工夫することで、子どもたちは自分の内面を揺り動かしながら豊かに発想を広げ、主体的に学ぶためのスタートが切ることができるのではないか。

1 題 材 にじみっくワールド！

2 指導計画（総時数3時間）

過程	主 な 学 習 活 動 【 評 価 規 準 】	時間
思いをふくらませる 思いをもつ	1 教師が提示する資料を見て、偶然に見える形に興味をもつ。 【関：偶然に見える形から、いろいろなものに見立てることを楽しんでいる。】	1 (本時)
	2 題材の学習のめあてをとらえる。 にじみっくの絵をかいて読み聞かせをしよう。	
	3 画用紙の上で色と色とが混ざり合ったり、重なったりするときの絵の具の変化を楽しみながら、にじみをつくる。 【想：絵の具の使い方をいろいろ試しながら、見つけた形や色などをもとに発想することができる。】	
自他のよさに気付く 思いを表現する	4 絵の具と水がつくりだした形の変化から、想像を広げ、その効果を生かして絵に表す。 【技：にじみによってできた形から想像したことを、絵に表すことができる。】	1
	5 表現の途中でお互いの作品を見せ合い、自分の表現に生かす。	
新たな思いをもつ	6 友達と絵を見せ合い、互いに作品の世界を物語にして伝え合う。 【鑑：絵具遊びから想像したお話を友達に伝えることができる。】	1

3 本 時（1／3）

(1) 目 標

色をにじませることを楽しみ、にじみの形から様々な発想をすることがようにする。

(2) 評価規準

絵の具の使い方をいろいろ試しながら、偶然見付けたことなどを基に発想している。

【発想や構想の能力】

(3) 指導に当たって

思いをもつ過程では、雲などの日常生活の中にある様々な形の資料を見せながら、自分の意図しない偶然にできた模様面白さに気付かせたい。さらに、にじみで描かれた作品でも同じように見立て遊びをしていく。そうすることで、これからにじみをつかって作品をつくっていくことにワクワク感をもたせたい。

思いを膨らませる過程では、子どもの意見を基に題材の学習めあてを立てさせる。それから学習計画を話し合い、子どもに楽しい見通しをもたせる。そうすることで、子ども自身が学習の主体であるという思いをもたせ、にじみをつかった製作への意欲を高めたい。

思いを表現する・自他のよさに気付く過程では、教師が絵の具をにじませる様子を見せることで色のにじませ方の手順を示し、偶然にできる形を楽しみながら自由に表現させる。その際、思うようににじみをつくれないうちの子がいたらみんなでその原因をお考え、にじませるポイントを確認させる。そして、できたにじみが何に見えるかを意見交換させ、友達の発想を楽しみながら、自分のつくった作品がどんな話になりそうか見通しを持たせる。

新たな思いをもつ過程では、学習を振り返り、自分の工夫したことや友達の頑張ったことを話し合わせる。その際、自分が工夫できたことやこれから工夫したいところ、友達の頑張りに気付かせながら互いに認め合う関係を深めたい。また、教師がにじみをつかってかいた作品を提示し、次の活動では本時につくったにじみに思いを込めて作品に仕上げていくことを伝える。そうすることで、学習の見通しを再確認するとともに、にじみをつかった作品づくりへの意欲を高めさせたい。

時	過程	主な学習活動と教師の手だて・評価	
5 ↑ (分) ↓	思いをもつ	<p>1 教師が準備した日常にあるおもしろい形の資料を見ながら、何に見えるのか想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥の形に見えるよ。 ・ぼくはくじらに見えるよ。 ・いろいろな形に見えておもしろいな。 <p>2 絵の具をにじませてかかれた絵から想像したお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごいなあ。 ・かいてみたいなあ。 ・楽しそうだなあ。 	<p>ふわふわした形やへびのような形のにじみを見せ、いろいろなにじみの形ができることに気付かせ、イメージを膨らませる。</p> <p>同じものでもいろいろな形に見えるおもしろさに気付かせる。</p> <p>教師がにじませてかかれた絵から想像したお話を読み聞かせることで、製作への意欲をもたせる。</p>
		<p>3 題材の学習のめあてをたてる。</p> <p>にじみっくの絵をかいて読み聞かせをしよう。</p> <p>4 学習計画を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなお話にしようかな。 ・この計画ならつくれそうだね。 <p>5 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>にじみからいろいろな形を見つけよう。</p>	<p>子どもの意見を聞いて、めあてを立てるようにする。</p> <p>大まかな学習計画を立てることで、見通しをもたせるようにする。</p> <p>教師の作品と学習計画から形を見つける力を高めることの大切さに気付かせる。</p>
3 ↑ ↓	思いをふくらます	<p>6 教師が色をにじませる様子を見る。</p> <p>7 自由ににじみをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれくらいぬらせばいいかな。 ・筆の動かし方で変わるぞ。 ・いろんな形ができて面白いな。 ・なかなか思うようにできないな。 	<p>実際に教師がにじみの技法でかいてみせ、にじみの技法で絵の具遊びをしてみたいという思いを高める。</p> <p>思うようににじみがつけない子どもが多い場合は、あまり水に溶いていない絵の具や大めの水で溶いた絵の具でつくったにじみを比べさせ、様々な模様をつくるには水の加減と筆の運びがポイントだということに気付かせる。</p>
		<p>8 できた作品からいろいろな形を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくのは何が見つかるかな。 ・犬の形に見えるよ。 ・川に見えてきたよ。 ・なんだか顔に見えるな。 ・〇〇さんのはお花がいっぱいあるように見えるよ。 ・〇〇くんのは色からもカメに見えるな。 	<p>※ 絵の具の使い方をいろいろ試しながら偶然に見つけた形から発想を広げることができる。</p> <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな形を見つけている子どもには、友達と作品を見せ合わせ、互いのにじみの形のおもしろさを気付かせる。 ○ 形を見つけられない子どもには、教師が具体的な形の言葉かけをしながら一緒に発想する。
30 ↑ ↓	思いを表現する / 自他のよさに気付く	<p>9 今日の学習を振り返り、自分の工夫したことや友達の頑張ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にじみの形からいろいろな想像することが楽しかった。 ・〇〇くんのにじみはゾウのような形でいいなと思いました。 ・〇〇さんのにじみは、虹のようにいろんな色があってきれいです。 <p>10 友だちの作品からつくられたお話を聞いて次の学習への意欲を持ち、目標を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くやりたいなあ。 ・どんな物語にしようかな。 ・虹をつかって作品をかきたいな。 	<p>自分の活動を振り返らせることで、工夫できたところやこれから工夫したいところ、友達の頑張りに気付かせ、お互いに認め合う関係を深めるようにする。</p> <p>教師が子どもの作品から話をつくり聞かせることで、題材のめあてと学習の見通しを再確認するとともににじみをつかった作品づくりへの意欲を高めたい。</p>
		<p>7 ↑ ↓</p> <p>新たな思いをもつ</p>	